

【国際関係学部】令和6年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の取り組み（前年度の「FD 年間報告書」から修正）

- ・昨年度に引き続き、論文・レポート作成における効果的な指導に取り組むが、今年度は特に生成 AI の教育的利活用を検討する。
- ・昨年度に引き続き、卒業成果物およびアセスメント科目の評価基準を検討する。

2. 「1」を踏まえて、今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

- (1) テーマ：生成 AI を活用したレポート課題の指導方法の検討
- (2) 目 的：生成 AI の急速な普及に伴い、学生のレポート課題やその他の学術活動における生成 AI の役割とその管理が重要となっている。今年度は、生成 AI の利用の利点とリスクを理解し、不正利用の防止策と適切な指導方法を教員間で共有することを目的とする。授業の課題の中で実践された具体例を通じて、一定のルールを設けながら教育的に利活用する方法を議論する。
- (3) 期待する効果： 教員が生成 AI の適切な利用方法の検討を進めることで、不正などの疑念を招くことなく学生が適切かつ効果的に生成 AI を使用し、質の高い授業課題を作成できるようになる。

3. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年 1 回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

- (1) 公開授業・ワークショップ：レポート課題における生成 AI の活用
実施日・場所：10 月 16 日（水）教授会後
実施科目：国際協力実務論
担当：三田貴教授
- (2) その他研修会等：授業内での翻訳ツール・生成 AI の活用の取組について
実施日・場所：未定
- (3) その他研修会等：卒業成果物・アセスメント科目の評価基準の検討
実施日・場所：未定

※この内容は本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。